

窓

読者のページ



秋はやっぱり
サンマだね

北 区・山本 清子
(主婦・57)

首相突然の辞任に思う

ひ弱な政治家
無責任な逃亡

南区・くまさん

(無職・64)

安倍晋三首相が退陣する意向を明らかにした。就任当時から私は「ぼんぼん内閣」と思っていた。内閣改組後も、閣僚や政務官、自民党幹部による政治不信で安倍内閣の支持率回復は望めない。さらにテロ対策特別措置法延長問題を抱える臨時国会の乗り切りが難しいと判断したためだろうが、結果として無責任には知識があるかもしれ

入部

安倍首相辞任表明

やっとサプライズが出たね

小泉前首相
(富澤・酒香子)

ない。しかし、攻めには強いが守りに弱い面があり、われわれの視点からみても正しい対応や判断ができないように見える。もっと世の中の常識というものを勉強すべきであらう。

2007年(平成19年)10月10日 水曜日

窓

読者のページ

釣り人たちは
マナーを守れ

南区・西村 忠雄

(無職・64)

私の今年の「釣」は九月末で終わった。毎年感じることは、釣り人たちの河川でのマナーの悪

さで、うんざりするものがある。たとえば、空き缶や弁当の空箱、紙くず、ビニール類などは、川岸の至る所に散らばっている。また、バーベキュー番組でルアー釣りがよく放送されているが、外来魚の駆除に県や漁業関係者たちが大変な努力をしているにもかかわらず、アユ釣りでは、「おれはプロで何十年もアユ釣りをしており、釣りの番組でテレビによく出ている」と自慢話をしている。己だけが楽しみ、何もくわえたばこで吸い殻を川へポイ捨てしたりする。また、私が釣っているところを、向こう岸に渡るために平然と横切ナールを守ってこそプロと



京都の実力を

遺憾なく発揮

南区・西村 忠雄

(無職・64)

新春の都大路で繰り広

げられた第二十六回全国

女子駅伝は、京都が四年

連続十二度目の優勝を大

会新で飾った。駅伝は大のすがすがしい姿を見て

好きで毎年見ているが、いると、まるで自分が走

今年は京都の実力をまぎっているような気持ちに

まぎと見せてくれた。二なり、手に汗がにじむく

位兵庫に二分三十二秒のらい感動を覚えた。京都

大差をつける勝ちっぷりのアンカー小島一恵選手

だった。それにしても、(立命館大)がゴールテ

本当に京都の女子は強い。地元だからという有

利さだけではないのは、ずかしいくらい飛び上が

って「よっしゃー」と叫

び、喜んだ。若い女性た

ちに加えて社会人と、みんなに心から拍手を送りた

いが実力を発揮した。あ

一日だった。

2008_04_16

京都新聞
2008年4月16日
朝刊に掲載

「ぼやきたい」今の時代

南区・西村 忠雄(無職・65)

かつて「ぼやき漫才」というのがあった。その第一人者といえば、既に亡くなった人生幸朗師匠だろう。社会の出来事に突っ込みを

八つ割り

保険料の天引き始まる

こんなやり方を「権力の乱用」というんじゃないですか

——後期高齢者

福田首相殿

(大津・シロヤン)

入れ、ぼやいたり、思い切りきおろしたりして笑わせた。ご健在のころは楽しく見させていただいた。「責任者出てこい！」の

セリフに、私もストレスを解消したのですが、最近の世相を見ると、社会保険庁の年金問題や食品偽装問題、そして天引き、自衛隊の問題など、これだけ問題が多い年はないのではないかと。しかも、それに対し誰一人責任の所在を明確にしないばかりか、開き直る「やから」もいる。

「責任者出てこい！」と言いたいのである。日本の責任者である福田康夫首相は先日、民主党の小沢一郎代表と党首討論をしたが、討論はあまりかみ合わなかったように思う。私は、民主党員でも何でもないが、首相の発言にはあきれ返ったというのが正直な気持ちだ。「おまえら、何をやってるのか」。人生幸朗師匠であれば、こう叫んでいるに違いない。

2008_05_09

激痛から解放

歯医者者に感謝

南区・西村 忠雄

(無職・65)

「のど元過ぎれば熱さを忘れる」ということがあるが、先日は朝から急に歯に激痛が起こり、何も食べられない状態になった。たまりかねていつも診てもらう歯医者者に電話したが、あいにく休みだった。仕方なく別の歯医者にお願ひして診察してもらった結果、虫歯で神経が邪魔しているとのことであった。

久しぶりの歯医者だったが、過去に治療したところが悪化した模様で、その時に神経を取っていなかったことが原因らしいと分かった。そして、神経を取ってもらって治療が終わったが、医院に入るときと出るときの違いは「天と地」そのもので、あんなに痛かったのがうそのようだった。困ったときの神頼みというように、先生が本当に神様のように感じた。

こういった「わらにもすがりたい」ことは、よくある話だと思う。困ったときにお願ひして、のど元過ぎればなに食わぬ顔をして忘れる方が世間に多いことも、長い人生の中で経験しているが、私はこの日の感謝は忘れないと思う。

2008_07_01

過剰な事件報道に苦言

南区・西村 忠雄（無職・65）

東京・秋葉原での無差別殺傷事件以後、インターネット上の掲示板で爆破予告や殺害予告などが増え、世間を騒がしている。こうした現象は、現在の情報化社会を物語っている一面もあるが、私は、テレビや雑誌などが一つの事件を集中して、ワイドショー的に取り上げ、「これでもか」といわんばかりのことまで情報提供していることに一つの原因があるのではないかと思っている。

その一例として、「子供同士のいじめによる自殺問題」などでも大々的な報道が行われ、社会問題になったことを思い出す。つまり、あまりにも過剰な報道で世間をかきたて、呼び水的に事件を拡大させている傾向にあるのではないかと、私は危惧（きぐ）している。

テレビや雑誌などのメディア関係に携わる方々は、報道することによる社会的影響を、もっと真剣に考える必要があるのではないだろうか？

2008_12_30

寂しい年末に

南区・西村 忠雄

（無職・64）

毎年、今ごろの時期になると街角で「べったんべったん」ともちつき

八つや句

猫の手も借りたい年末

末

最後の三奉仕。私の手も使ってください

ーイノシシ

（丹波・山響）

の風景が見られたものだが、最近ではほとんど目にすることはない。日本に伝統行事であるもちつきが懐かしく思える半面、寂しく感じる年末で思いでいっぱいだ。

ある。

もちをつくのは大変な作業で、まず臼やきね、せいろなど、必要な道具と材料を準備しなければならぬ。そして、もち米を蒸し、もちつきが終われば片づけと、大変な時間と労力が必要である。最近はお金さえ出せば手に入ることから、各家庭でもちつきをする人が少なくなっているようにも思う。

しかし、きねでべったんべったんともちをつく音は周囲に活力を与えるばかりか、近隣同士のコミュニケーション、さらには自身の健康面で普段使わない筋肉を鍛えることと、私は非常にいいと考えるが、いかがだろうか？ 昔に戻りたい

自信なき首相去るべし

南区・西村 忠雄（無 職・65）

麻生首相は、内閣支持率が急落したことについて「非常に厳しい数字で、これがわたしへの評価と受け止めている。景気・雇用対策への期待に十分応えていないとの批判だと思う」と述べた。これを聞いて私

へびくろ

国会議員にボーナス
高額所得者は辞退し
ては？

――庶民

麻生首相殿
（北・京すめ）

は、何という政治家か、これでも日本の首相かと感じた。

経済情勢が悪化する中で麻生首相は十月、衆議院の解散を遂げず金融危機に対する対策を打ち出した。景気対策が最優先といい、総額約二兆円の定額給付金や

高速度道路の料金を安くする対策などを自信を持って記者会見する姿を見たのは、つい最近のことである。

一国のトップが自信をもって打ち出した施策が、二カ月もたないうちに、間違っていたかのような弱気の発言をする首相に、日本の政治・経済・防衛・外交

などを今後とも任してよいものかと、疑問と不安を抱いた。一国一家の主たるものは、国民あるいは家族を安心、安定させるのも大きな務めである。それができないようであれば、「即刻立ち去れ」と言いたい。

われわれ国民には直接、首相を選ぶ権限はない。こんな人物を首相に担ぎ出したのは、与党の国会議員である。その責任は重大というべきだろう。

2019 02 10

ながらスマホ 子も見てる

南区・西村 忠雄（無 職・76）

街の中を車で走っていた 場面です。

ら、自転車の後ろに子どもを乗せた女性が、横断歩道を、スマートフォンを操作しながら渡っていたのを見かけました。最近によくある光景で、こちらも車で走っているのに、注意しようにも、注意できず通り過ぎるのですが、非常に危険な

一方、通学時間帯で信号のない横断歩道を渡っている子どもたちのために、車を停止すると、通り終わつた所で一礼する子どももいれば、そのまま走り去っていく子どもいます。いかに親の教えが大事であるかを考えさせられます。